



# 秘宝を特別に公開

—京の冬の旅—

## 「みやび」「わび」の2コース

京都市と同観光協会主催の「みやび」「わび」の冬の旅は、三月十五日まで開催だが、「みやびコース」「わびコース」は、いつでも行くことができる文化財公開の機会である。期間は定期観光バスも運転（予約制）。建築、絵画、庭園など秘められた古都の美を再発見できる好機会である。二コースとも五か所の寺院を訪ねるが、国宝を多く含む寺も美しい庭園ばかり。平日職員なので申し込みは早目にと。主催者側はこうしている。

### みやびコース

■霊宝寺（八咫、ふすま絵、庭園）  
 三好長慶の霊宝寺。霊宝は後水尾天皇が約殿として建物を二条城から移された。局の在りしに能舞台と尾法皇が皇女浄法身院宗澄尼を開基として建立した浄法身院宗澄尼を祀る。皇孫女が入寺されたので霊宝寺と称し、寺は鹿（し）が谷比呂所、または谷の御所という。狩野永徳、元信と伝えられるふすま絵などがあ

### わびコース

■妙心寺講堂（ふすま絵、霊宝）  
 三好長慶の霊宝寺。霊宝は後水尾天皇が約殿として建物を二条城から移された。局の在りしに能舞台と尾法皇が皇女浄法身院宗澄尼を開基として建立した浄法身院宗澄尼を祀る。皇孫女が入寺されたので霊宝寺と称し、寺は鹿（し）が谷比呂所、または谷の御所という。狩野永徳、元信と伝えられるふすま絵などがあ

# 伝統的工芸品展覧

<4>

## 手作りの技法伝えて 庶民の暮らしに明るさ

八世紀から九世紀の染織技法を、

■豊橋  
 主要産地：豊橋市ほか。  
 その起源は十九世紀初頭とみられ、この下駄武士の副業として発展。書道を中心に工芸用、日本画用、業務用などがあり、広島県熊野町に規模の産地。穂は、ヤギ、ウマ、タヌキなどの毛を使ひ、穂を織り、最も重要な選毛、練りませぬ、芯立てなどの工程はもうほとんどが伝承による手作り。

■伊賀  
 起源は古く奈良朝以前にさかのぼる。江戸時代には産業としてすでに栄えていた。生糸、絹糸を主に手作り。

■信楽  
 主要産地：滋賀県甲賀郡信楽町。天正時代、聖武天皇の茶室築造

■京友禅  
 主要産地：京都市ほか。

■大板欄間  
 主要産地：大阪市ほか。

■七世紀初期にはじまり、大阪府内の神社や四天王寺などに伝承された技法が、大板欄間に親しまれ発展してきた。屋久杉の木目を生かした絵画調の彫刻欄間、桐の肌を透かし模様を調和した欄間、簡潔な幾何学模様を表現したオキ、組子欄間、特異な節技欄間もあり、日本家屋にふさわしい装飾性と換気の機能性を備えたもの。

（写真上から豊橋、伊賀、伊賀、信楽、京友禅、大板欄間）

なお期間中、京都観光旅館連盟と日本ホテル協会京都支部加盟の旅館、ホテルでは参加者の特典割引を要す。

移転 大阪府教職員互助組合は大阪府北区曾根崎上四一〇、駅前第一ビル五階、大阪府教育委員会事務局内に移転。電話〇六三三四一五〇五。



【写真】天井のたすまいも奥ゆかしい高台寺の茶室・幸亭（重要文化財）京都市文化観光局提供

### 2コース案内

定期観光バスは下記の通り。  
 ▼みやびコース 京都駅前東口前  
 午前10時30分発。約六時間、四千六百円（京料理含む）  
 ▼わびコース 京都駅前タワービル一階午前10時40分発。約六時間、五千円（茶懐石風点心を含む）  
 すべて予約制、問い合わせは京都市観光協会（〇七五—七六一—〇〇〇四）東京業務取次所（〇三—二二—二八五七）福岡業務取次所（〇九—二七—二二—九一）京都市観光案内所（〇七五—三七—二二〇八）名古屋業務取次所（〇五—二五—八二—二九〇）

たのしいたのしい後楽園!

総合レジャーセンター 株式会社 後楽園スタジアム  
 (〒112) 東京都文京区後楽1-3 TEL = 811-2111・大代表

東京のお泊りは 文教の地「本郷」で

経験で修学旅行のメッカ本郷へ 奉仕する

—近畿日本ツーリスト協定旅館連盟東京支部本郷地区会員—

長追栄旅館	ふたき旅館	藤田旅館	朝山旅館	富山旅館	真成旅館	文京旅館	日本学生会館	本郷別館	朝陽館	平安荘
-------	-------	------	------	------	------	------	--------	------	-----	-----

財団法人 全国修学旅行研究協会編

# 心にのこる修学旅行

■財・全修協創立20周年記念出版

児童・生徒の目にとらえた修学旅行と先生の研究論文

本書は全国の小中高校生の作文と、現場先生の調査資料・研究論文を収録し、修学旅行の立案計画から現地での実際体験、事後の反省・評価の実態と改善点をしめた。子どもたちは何を、何を求めているか。先生たちは現状をどう認識し、将来をどのように模索しているか。これからの新しい修学旅行を開拓しなければならぬ関係者にとって本書はまさに啓蒙の声である。

作文小学生28編、中学生48編、高校生9編と研究論文16編のほか、文部省初中局教科調査官・堀久氏の「これからの修学旅行」と全国都道府県修学旅行実施基準を掲載。

推せんのごとば

■谷合 良治氏 (全日中会長・東京都青梅市立一中校長) 修学旅行は学生時代の夢であり、華である。このたび「心にのこる修学旅行」の論文・作文集が企画・作成されたことは誠に喜ばしい。人生を通じて最も印象に残る思い出のひとつと大切にしたい。

■高橋幸三郎氏 (全国特別活動研究会会長・東京都千代田区立麹町中学校長) 修学旅行は、重要な教育的価値をもつ反面、さまざまな問題点を抱えている。このたび全修協が「心にのこる修学旅行」を編集されたことは、まことに敬服にたえない。修学旅行が児童生徒のすばらしい一生の思い出となるよう、切に願うものである。

■森 武夫氏 (東京都立両国高等学校長) わたくしは、この本を読んで、深い感銘をうけた。子どもの目とらえた修学旅行のありのままの姿と、これからのありかたを示唆する論文は、教師・児童生徒が修学旅行を考える上で非常に参考になる。広く全国の先生方、児童・生徒の皆さんに一読をすすめる。(全国高校長会長)

A5判272ページ・上製本・本文2段組・写真と図版多数  
 頒価 1,400円 (送料200円)  
 (2冊以上の送料は約2割増)  
 限定出版のため書店では扱いません。右記の発行所か全修協へお申込みください。

株式会社 教材研究所  
 〒601 京都市南区西九条烏居口町5  
 電話075-681-1591 (代表)  
 振替京都2539